



高ちゃんつうしん

* 2010.9 No.32 *



市議会：087(839)2831

自宅：087(888)3272

eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp

HP：http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



やっと川島本町に待望の押しボタン信号機が設置できました。



初めて要望を受けたのは平成19年11月、あれから2年4カ月経ちましたが、平成22年3月に待望の押しボタン信号機が設置されました。

一人のお母さんから「子どもたちの通学路になっている交差点に押しボタン信号機を設置してほしい」とのお話をいただきました。すぐさま都築県議と連携し、そして地元地域の皆様のご協力により多くの方々の署名をいただき、平成20年3月に市と県警へ要望書を提出いたしました。

6月の現地診断の結果、信号で待っている間の子どもの待機場所がないとのことで、設置基準に当てはまらないとの結論でした。

それでは待機場所を作ろうとなり、県警、地元水利組合、市の道路課、県土木事務所と地元の方々に来ていただき、一緒になって打ち合わせをして、やっと待機場所の確保ができ、信号が設置されることとなりました。多くの方々が、子どもたちの安全の為にということでも力を合わせてできた信号機です。



アートと海を巡る100日間の冒険、瀬戸内国際芸術祭が7月19日開幕しました。

瀬戸内海の七つの島々（直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島）と高松を会場として、現代アートの祭典が10月31日までの100日間開催されます。

個々のアート作品だけではなく、島々の自然や暮らしとアートの融合、地域で大切に育まれてきた伝統芸能や食文化、瀬戸内ならではの各種イベント開催なども組み立てられており、存分に楽しめる内容となっています。

私は開催の前日、芸術祭内覧ツアーに参加して、女木島、男木島、豊島に行ってきました。当日は晴天で、まずは瀬戸内海の目の覚めるような空と海の青さに感動し、それぞれの予想もしない芸術作品に「へー！！」と感嘆の連続でした。時折、島の方々にお会いするので「こんにちは！」とお声をかけると「こんにちは！」と和やかな笑顔で返してくれます。なんとも言えない島の方々の温かさが感じられました。

このような素晴らしい芸術祭がこの香川県を中心として開催されることに誇りを感じます。是非、多くの方々に、まずは、高松市民の方々に行っていただきたいです。



6. 出雲市のガンサロンを視察して参りました。



2月8日（月）に出雲市の総合医療センターほっとサロン「ふらた」とがん情報サロン「ちょっと寄ってみませんか」を視察して参りました。

本市、市民病院内で5月に初めて、がんサロン「おしゃべり会」が開催されることとなり（本会議でも主張して参りましたので）その前にどういう状況で開催されているのかを調査して参りました。

基本は、とにかく患者自身または患者の家族が主体となって、積極的に運営をし、それを行政がフォローしているという状況でした。

感動したのは、運営をされている方々は、自身闘病中でありながら、自分自身が困ったこと辛かった

経験を生かして、一人でがんと闘うことが苦手ながん患者の為に必死で運営されているという事実でした。また、医療従事者とも意見交換をされていて、患者の真意がわかり、日頃の医療業務にも大いに役立っているということでした。

*がんサロンとは・・・がん告知を受けて不安や恐怖を抱えている患者や家族が集まり、互いの悩みを共有したり情報交換したりできる場所です。

6. 7月26日から28日に会派視察で、東京方面と山梨県へ行ってきました。



① デジタル録音図書情報システム「DAISY」について ～（財）日本障害者リハビリテーション協会～

「誰にでもできることができない」という子供たちがいます。そして、一人一人が抱えるディスレクシア（読み書きの困難）は、それぞれ違っています。読み書きが苦手だから勉強ができないと決めつけないで、適切な教材と方法があれば、伸びていける可能性が広がります。その一つにDAISY（デイジー）があります。実際、見てみてびっくりでした。そしてこれは早く教育委員会、教員等の理解促進を図っていかないといけないのではと思いました。

*DAISY(デイジー)とは・・・発達障がいなどで「読む」ことが困難な子どもたちのためのマルチメディアDAISY教科書のことで、パソコンなどを活用して、通常の教科書の文章を音声で再生した上で、対応する文章を色で強調します。また、字の大きさを変えるなどの工夫を施すことで、子どもたちに教科書の内容の理解を促す効果があります。2008年9月に公明党が推進した教科書バリアフリー法の施行などを機に、提供がスタートしました。

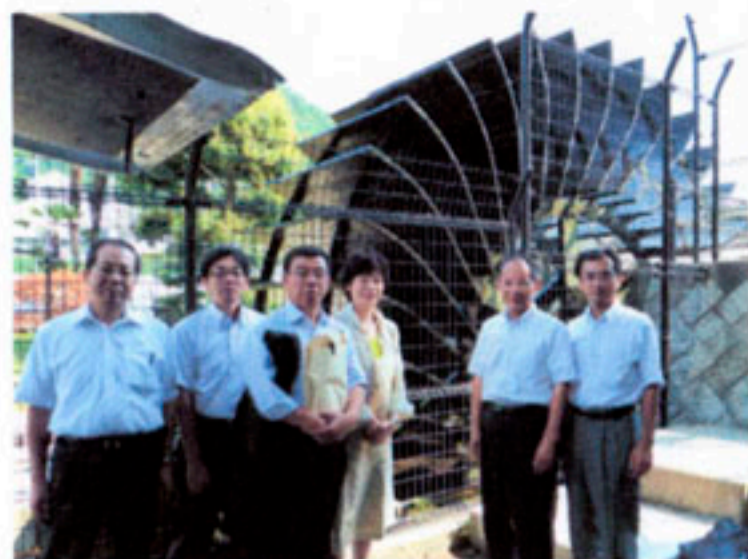
② 自殺予防対策（ゲートキーパーの養成）について ～足立区議会～

自殺の危険性の高い人を早期に発見し、適切に対応できる人をゲートキーパーと言います。直訳は「門番」ですが、相談者の隠れた悩みに気づいたときに、相談者の了解を得て適切な関係機関につなぐことによって、かけがえのない命を守るという人たちです。その人材育成を足立区では積極的に実施されていました。とても大事な視点であり、本市においても検討してはと思いました。



③ 家中川小水力発電所について ～都留市議会～

化石燃料の大量消費により引き起こされる地球規模の環境問題に対応するため、都留市では、「持続可能な定常社会」を掲げ、「人・まち・自然にやさしいグリーンアクションつる」に取り組まれていました。そんな中、「都留市地域新エネルギービジョン」を策定し、この中で、太陽光、水力などのエネルギーなどを活用した5項目を重点プロジェクトとして取り上げ、その中で、マイクロ水力発電システム「元気くん1号」を導入されていました。



④ 廃校舎を転用した高齢者施設と保育園との複合施設について ～ヘルスケアタウンにしおおい（社会福祉法人こうほうえん）～



旧原小学校跡に、ケアホーム（高齢者向け優良賃貸住宅）、敬老会館（介護予防拠点）、保育園が併設されて、高齢者と園児の世代を超えた交流と、地域とのつながりのある暮らしを提供している。

以前から、このような世代を超えた交流が大事であることは認識していましたが、実際に施設として運営されている「ヘルスケアタウンにしおおい」は素晴らしかったです。

今年度も7月1日より2月28日までの間、乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券配布による検診が実施されます。
(高ちゃんにも今年初めて届きました!)



公明党の推進により、平成21年度補正予算で、乳がん 子宮がん検診の無料クーポン券配布事業（適応年齢は、子宮がん 20歳 25歳 30歳 35歳 40歳、乳がん 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳）が実現しました。公明党はこの事業を単年度で終わせず恒久化を掲げ、せめて5年間だけは続けないと平等性にかけて、強く訴えて参りました。地方においても私もしっかりと継続実施を国へ訴えるよう提案して参りました。しかし何と鳩山前政権は、予算を3分の一に削減してしまいました。（これにより次年度実施を見送る自治体も発生しました。）

でも本市では、この事業は継続されることとなりました。本当に良かったです。必ず、クーポン券を頂いた方々は、時間のやりくりをして検診に行ってください。あなたの健康は、あなただけのものではなく、家族のものであり、社会のものであると思います。早期発見、早期治療に取り組んでいきましょう。

* 適応年齢の計算日は、22年度4月1日現在となっています。



あっちこっち高ちゃん

2月14日一宮体協主催のソフトバレーボール大会に参加しました。



7月14日高松中央ライオンの一員として、中央公園の花植えを行いました。



瀬戸内国際芸術祭について、参考までに私のポイントをお知らせします。



1. 作品鑑賞パスポートを購入する。

- 購入場所は、高松港総合インフォメーションセンター
(高松市サンポートの高松港旅客ターミナルビル1F)
- 値段は(当日券の購入)一般5000円、高校生3000円、中学生以下無料です。
- ★宇野港インフォメーションセンター・直島インフォメーションセンター・各島の案内所でも購入できます。
- ★車で高松港に来られる場合、パスポートを提示すると一回のみ無料駐車できる特典があります。
- ★地元高校生の方で、学校で配布されたチラシを持っていない方は、事前に必ず問い合わせてください。

2. 瀬戸内国際芸術祭公式ガイドブックを購入されることをお勧めします。

もちろん絶対ではありませんが、7つの島々を一日で回るのは無理がありますので事前の情報収集によりどこを回るのかを決め、おおよその行程を決めて臨むのが一番だと思いました。

具体的に、コースの組み方も出ていますので、大いに参考になります。

★ホームページも見てください！！

3. 芸術祭フリー乗船2日券を購入するかどうかを決める。

多くの島を回らないのであれば、その都度支払う方が、安い場合もあります。

4. 総合インフォメーションセンターで、何でもいいので、わからないことがあればしっかりと聞くことが一番です。電話087-813-2244

マップなども購入できます。そこで、行きたいコースを決めるのもいいかもしれません。

運営スタッフ(こえび隊)を大募集しています。



芸術祭が始まって、毎日30名から50名程のこえび隊にご協力いただがなくては、スムーズな運営を続けていくことができません。一日からでも応援OKです。趣旨に賛同いただける方は、こえび隊のホームページを開いていただき、カレンダーを見て、ご応募して下さい。また、お問い合わせの場合は、電話：087-813-1001です。よろしくお願ひします。